



本件照会先

佐藤 正明(調査担当)
帝国データバンク
奈良支店
0742-26-3231

発表日

2026/04/13

高リスク企業は465社 前年比9社増 3年ぶり増加に転じる

うち6割は「従業員5人未満」の企業
小規模企業の業況悪化に歯止めかからず

奈良県・「倒産リスク」分析調査(2025年)

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

企業が1年以内に倒産する確率を10段階のグレードで表す指標「倒産予測値」(※)算出の1万3470社のうち、2025年12月時点で高リスク企業(グレード8~10)は全体の3.5%にあたる465社と前年に比べ9社増加した。業種大分類別では、「製造業」が最多の135社となり、前年比10社・8.0%増であった。売上規模別では「1億円未満」が全体の約6割、従業員規模別では「5人未満」が約6割を占めた。

※倒産予測値とは

- ・倒産予測値とは今後1年以内に倒産する確率を個別企業ごとに算出したリスク指標
- ・現地現認の信用調査と、独自のネットワークによる変動情報などを集積した帝国データバンクが保有するビッグデータから、倒産に関係が深い要素だけに焦点を当て、独自の統計モデルにより算出
- ・個別企業ごとに予測したリスク指標をG1~G10の10段階のグレードに設定しており、G1が最も倒産リスクが低く、G10が最もリスクが高いグレードとなっていてグレードが高いほど実際に倒産が発生している

※高リスク企業

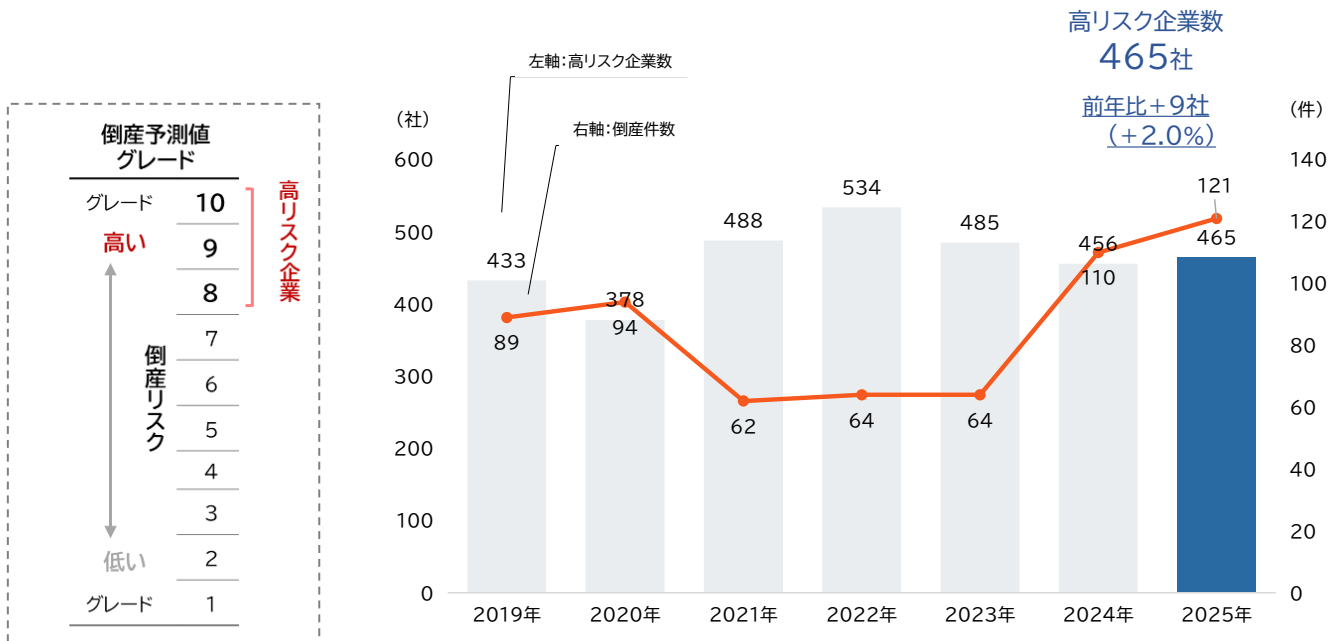
- ・倒産予測値のグレードが8~10であり、倒産リスクが高い企業群

高リスク企業は465社、前年比9社増 小幅ながら4年ぶり増加に転じる

企業が1年以内に倒産する確率を10段階のグレードで表す指標「倒産予測値」算出対象の国内企業147万社のうち、2025年12月時点で高リスク企業(※)は全体の3.5%にあたる465社であった。2024年12月時点の456社と比較すると9社・2.0%増となり、小幅ながら4年ぶりに増加に転じた。

2025年の全国倒産件数は12年ぶりに1万件を超え1万261件となり、奈良県内においても121社と増加傾向を辿っている。新型コロナウイルス感染症対応資金「ゼロゼロ融資」により倒産企業が抑制されていたが、同融資の返済や物価高、人手不足などの影響で、2024年には110件、2025年には前年比11件増加の121件となった。そのような状況下、企業倒産の先行指標ともいえる高リスク企業も増加したことは今後の懸念材料となろう。

倒産件数・高リスク企業推移



従業員数「10人未満」が高リスク企業の8割超を占める

従業員数別にみると、「10人未満」が76.1%を占め、その内訳は「5人未満」が281社(60.4%)、「5～10人未満」が73社(15.7%)となった。売上高別では、「1億円未満」が285社と最も多く、全体の61.3%を占めた。

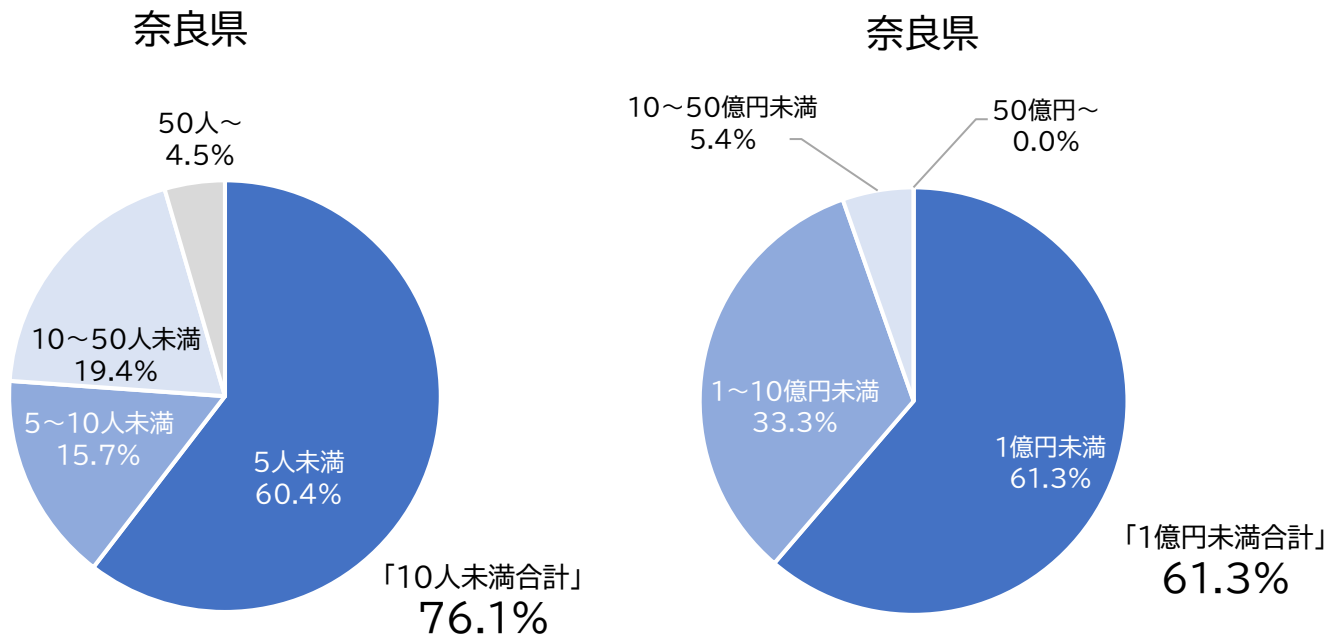
倒産企業も小規模企業が大半を占め、物価高や賃上げ、人手不足などの経営課題に直面し、事業継続を断念する企業が相次いだ。このなかには、業歴10年未満の新興企業も多く含まれ、事業展開が軌道に乗らないまま資金繰りが行き詰まったケースもみられる。多くの中小・小規模企業は、コロナ禍をゼロゼロ融資

や協力金・給付金などによって乗り切ったが、その後の物価高や人手不足、賃上げへの対応、価格転嫁の停滞、ゼロゼロ融資の返済負担などが重なり、収益回復が遅れる企業も少なくない。

また、市場の需要が増加していても、その機会を獲得できる企業とできない企業で明暗が分かれている。営業力や顧客ネットワークなどの営業基盤が強い企業は、人員確保や設備投資に踏み切る体力を維持しやすい一方、営業基盤が弱い企業は受注を十分に確保できず、売上拡大に結びつかない。結果として資金繰りが悪化し、従来から財務面が脆弱な企業では倒産リスクが高まる一因となっている。

(左図) 従業員数別 高リスク企業数

(右図) 売上高別 高リスク企業数



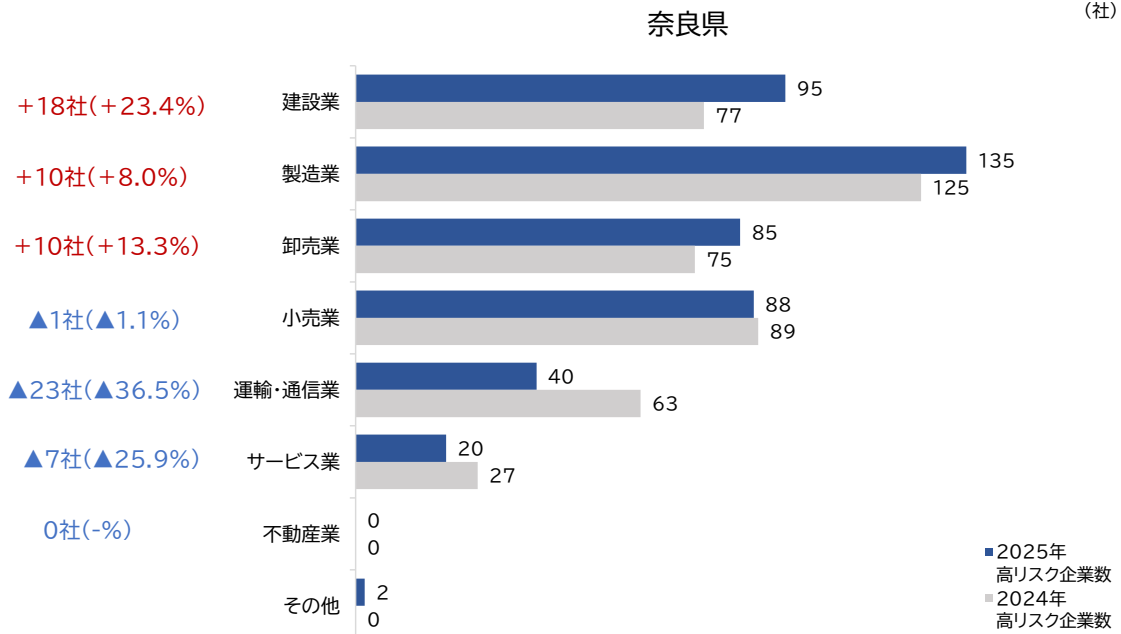
業種大分類別では「製造業」が135社で最多

業種大分類別では、「製造業」が最多の135社、前年125社・8.0%増となった。次いで、「建設業」が95社(同77社・23.4%増)と増加傾向にある一方で、「小売業」が88社(同89社・1.1%減)となった。「運輸・通信業」が40社(同63社・36.5%減)、「サービス業」が20社(同27社・25.9%減)と減少した。

高リスク企業の最多業種である「製造業」については、トランプ関税、円安・原材料価格の高騰、人手不足などのコスト増に価格転嫁が追いつかず、中小企業を中心に増加した。

一方で、高リスク企業が最も減少した業種の「運輸・通信業」は、運賃の価格転嫁が進んでいるおり収益改善が図れていることや、AI・クラウドサービスの需要拡大が業況の回復につながった。

業種大分類別 高リスク企業数

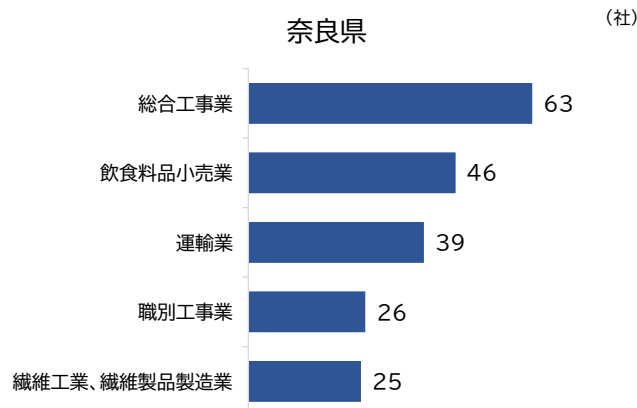


高リスク企業数は「総合工事業」が63社で最多 出現率は「皮革・同製品・毛皮製造業」の33.3%が最高

企業数を業種51分類別(※TDB 倒産集計の業種区分に準ずる)にみると、最多は「総合工事業」の63社であった。次いで「飲食料品小売業」で46社、「運輸業」が39社、「職別工事業」が26社、「繊維工業・繊維製品製造業」が25社と続いた。「総合工事業」については原材料・エネルギーコストの高騰や物流コストの上昇による収益基盤の圧迫が大きく影響した。

業種内の全企業に占める高リスク企業の割合(※出現率)では、「皮革・同製品・毛皮製造業」が33.3%と最も高かった。次いで、「郵便業・電気通信業」が25.0%、「出版・印刷・同関連産業」が24.2%、「飲食料品小売業」が23.1%、「飲食店」が22.3%と続いた。「皮革・同製品・毛皮製造業」においても、物価高によるコスト増加に対し、需要低迷による価格転嫁の頭打ちが収益低下を生じている。

業種 51 分類 高リスク企業数TOP5



高リスク企業と中低リスク企業で生産性は約 1.4 倍の差

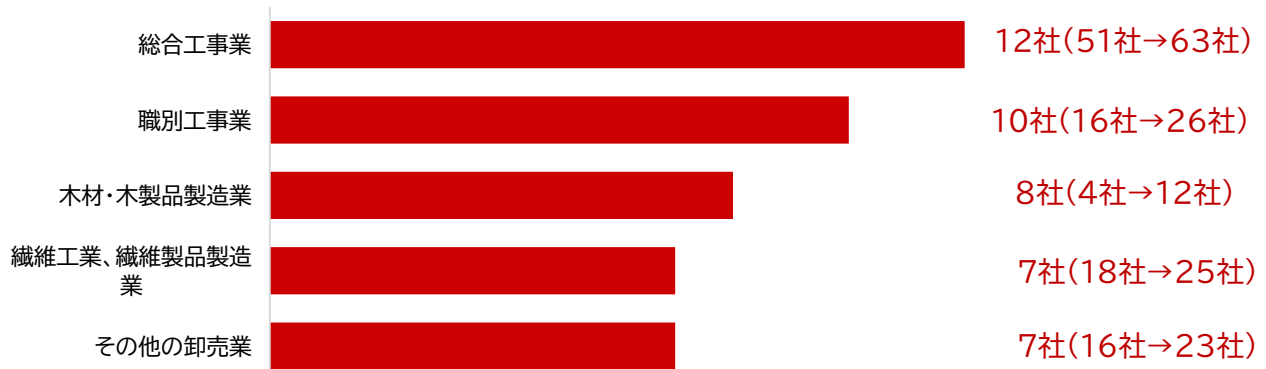
生産性を表す指標のひとつである従業員一人当たりの売上高平均について比較すると、「中低リスク企業(倒産予測値グレード 1~7)」は「高リスク企業」の約1.4倍に達し、その格差はすべての業種で確認された。この差は原価構造、業務プロセス、組織運営などの違いが表れた結果とみられる。

「高リスク企業」は、設備や人材への投資余力に乏しく、他社との差別化も図りにくい。結果、価格交渉力が弱まり価格転嫁が進まないことで、さらに資金が枯渇するという悪循環に陥っていると考えられる。

業種大分類別 従業員一人当たりの売上高平均(高リスク・中低リスク比較)

リスク悪化

高リスク企業数が増加した主な業種



リスク改善

高リスク企業数が減少した主な業種

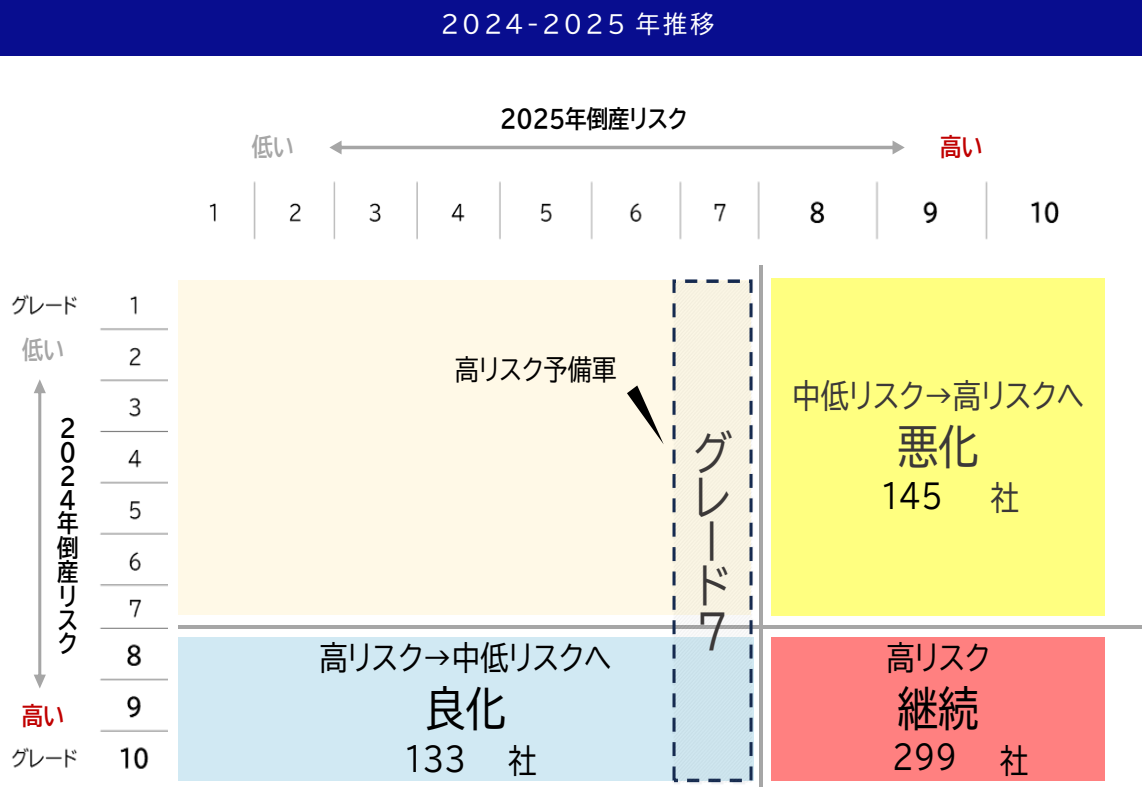


高リスクへ悪化した企業は145社

2024年から2025年の1年間のリスク分布変化をみると、高リスクへ悪化した企業は145社、中低リスクへ良化した企業は133社あった。悪化企業が良化企業を12社上回り、全体では小規模企業を中心に高リスク企業が増加した。良化した企業の中には、事業ポートフォリオの見直しや価格戦略・原価管理の精度向

上によって収益力を高めた企業、増収増益を果たして事業基盤を強化し中低リスク圏へ移行した企業も含まれるなど、その実態は一様ではない。

全国をみると、中低リスク層の中で最もリスクの高いグレード7企業は約10万社存在している。この層は、高リスクから回復途中にある企業と、かろうじて中低リスクに踏みとどまっている企業が混在しているため、高リスク層へ再転落する可能性を抱えた“境界層”として注視する必要がある。短期的な需要変動や資金調達環境の不安定性に影響されやすい構造は変わらず、今後のリスク動向を左右する重要な集団となるだろう。



今後の見通し

2025年はトランプ関税・円安・物価高・人手不足など厳しい経営環境が続く、企業業績はコロナ禍からの回復局面に水を差される格好となり、高リスク企業は奈良県内で465社、前年比9社増と小幅ながら3年ぶり増加に転じた。特に、従業員数「10人未満」の企業が高リスク企業の約8割を占めており、外部環境の変化に対する耐性の弱さがあらためて浮き彫りとなった。

高リスク企業は、新型コロナウイルス感染症対応資金による特別融資を利用して資金繰りの安定化を図っていた企業の多くが、返済開始を迎え、資金繰りは圧迫を強いられている。加えて中東情勢の悪化により原油・石油製品の供給不安が「運輸・倉庫」「製造」など多方面の業界のほか輸出面にもマイナスの影響が現れ始めており、今後も事業への影響は国内外を問わず広範囲に及ぶ可能性がある。内部的に経営基盤に弱さを抱える企業は、こうした外部環境の変化を吸収する余力が乏しく、資金繰りの悪化が避けられない。

物価高や人手不足などの社会的リスクのほか、中東情勢の悪化による地政学リスクなど、不確実性が高まる経営環境においては、平時以上に市場や取引先の動向、需給の変化を丁寧に把握し、状況に応じて柔軟に舵を切れる体制が一段と重要になっている。持続的な成長を実現するためには、成長企業との関係強化に加え、事業再構築や M&A の活用、サプライチェーン再編など、経営基盤を強化していくことが必要であろう。